

## 小野ゼミの再興に向けて

第3期 OB 横山 嵩

今回、記念すべき OB・OG 会誌の第 1 巻に寄稿させていただくにあたり、5 期生の入ゼミ選考に関わらせていただいた者の 1 人として、標記のテーマを選ばせていただきました。

現在、小野ゼミは先生が在外研究中の活動停止期間を経て、新たに 5 期生を迎えて活動を再開していますが、先輩が不在の中、自分達だけでしっかりと活動が続けていくのは簡単なことではないのだろうと思う反面、それはある意味では非常にチャンスでもあり、現役の 5 期生には是非ともポジティブにとらえて貰いたいと思っています。

「再興」なんて言葉を使うと、まるで今は勢いが無いような印象を与えますが、そんなことはないことはこの会誌を読まれている皆さんはお分かりのはずです。この会誌の発刊しかり、現役 5 期生がゼミ活動に邁進してくれているのを感じています。

5 期生の活動についてはなんら不安を覚えてはいませんが、短いながらも 4 期生までが作り上げた小野ゼミの大事な要素は第 1 世代(?)の OB の 1 人として、是非とも理解し、受け継いでいって欲しいと思っています。一言で要素といっても様々あると思いますが、以下に勝手ではありますが自分が大事だと思う要素いくつか挙げさせていただきます。

### ◆ゼミとして向上する意識を持つ

個人として常日頃から向上心を持つのはあたりまえのことですが、ゼミ全体の向上、という観点からも意識をしてみるといいと思います。小野ゼミは研究レベルにおいて常に上を目指して行くべきでゼミです。自分達の代の電通論文チームが先輩の成績を上回り 1 位を取った事が分かりやすい例ですが、常日頃からゼミ全体として向上していく意識をもって活動を行って欲しいなと強く思います。(目指すは日本一のマーケティングゼミでしょうか??)

### ◆チームワークを意識する

今でもそうだと思いますが、自分のゼミ活動はグループワークに代表されるような、仲間と共に行っていく活動が日々の活動の中で大きな比重を占めていました。もちろん、個人で行う課題や研究もありましたが、ゼミ活動自体がチームワークであったといっても過言ではないかもしれません。議論に費やした時間は尋常なものではなく、仲間は半ば運命共同体とも言えたでしょう。しかしながら、その成果は各々がどれだけチームとしての意識を持てるかによって大きく異なってくると思います。自分が今チーム(ゼミ)に対して貢献できることは何か、各々が常に考え、行動することが非常に大事だと感じています。ゼミ活動の中で発生した熱い議論からはチームとしての成果が得られただけで無く、自分の強みと弱みは何なのか、議論を纏め上げるのにはどうしたらいいのか、等の個人にとって得るものも多かったように思います。

常に仲間と互いに切磋琢磨し、相乗効果によって自分1人では決して到達し得なかったレベルに行けることが小野ゼミの特徴ではないでしょうか。

#### ◆個人としてのプライドを持つ

プライド、などという言葉を使うときほどのチームワークと相反しそうな印象を与えてしまうかもしれませんが、これもまた非常に大事な要素だと思っています。グループワークなどで成果を求め議論を行っていくと、その過程の中で、自分の得意な部分、足りない部分が見えてきます。自分は決して優秀な人間ではないため、当初は自分の足りないところばかりが見えてしまい、わりと凹み気味だったのですが、「これだけは誰にも負けない」というものを自分の中で設定し、それを伸ばす努力をすることによって、周りに気後れすることなく、ゼミ活動を積極的な姿勢で続けていけたと思っています。設定するものとしては、論理構築力や文献の知識、英語力などの高尚なものでなくとも、「わかりやすいパワーポイントの作成なら誰にも負けない！」とかでもいいですし、究極だと「イベントの段取りをやらせたら誰よりもうまくやれる」といったものでもいいと思います。どうせ足りない部分などは山ほどあるのですから、それは地道に一つずつ補っていくとして、何か一つだけでも周りに認めさせるものを持つように意識するいいのではないのでしょうか。

また、このプライドには「ゼミ生としての義務を果たす」という心構えを持つ、という意味もあります。ゼミ活動の中では多くの「やらねばならないこと」があると思いますが、それらをきちんと遂行できないようでは周りの信頼も得られませんし、ゼミ活動全体にも悪影響を及ぼしかねません。やるべきことはやる、守るべき事は守る、当たり前のことですが、これをきちんと守っていくことも自らのプライドとして欲しいと思います。

#### ◆常に楽しむ

「今楽しいですか？」この問いかけは非常に重要です。ゼミ活動は強制されてやるものではなく、自ら望んでやるものですから、楽しめるかどうかはかなり重要です。ゼミ活動は非常にハードですので、辛い状況に陥ることも多々あるかもしれません。徹夜で課題なんかやっているときなどは半ば錯乱して「もう全てやめてしまいたい！」と思い、思わずパソコンを破壊してしまいたくなりがちですが、それも気の持ちようで何とかなるものです。自分の同期の名言で「人間は99%がメンタルで1%がフィジカルだ」というのがありますが（ちなみに、1%のフィジカルは花粉症だそうです）、辛いと思うから辛いのです。こんな体育会系のような発言はゼミにはふさわしくないかもしれませんが、仲間と共に励ましあいながら。ある意味で開き直って楽しんで、その先に必ずある成果に集中して乗り越えていってください。人間やっぱ楽しくないと本来の力を発揮できないものです。どうやったら今の状況を楽しめるか、常に考えることをお勧めします。

少し長くなりましたが、上記はあくまで私見ですので、参考程度にしていだければと思います。最後にもう1点、卒業生もたまには現役と絡みましょう！最近失いがちな「何か」を取り戻せるかもしれませんよ！？